

第5回 「食と農業」の持続性への関心について

1 調査目的

農業を取り巻く環境が大きく変化するなか、豊かな食と、それを支える農業を将来につなげていくため、栃木県では「とちぎの食と農業アクションプロジェクト」を展開しています。本調査は、県民の食と農業に対する理解の状況や、関心を寄せる農業への関わり方を伺い、今後のプロジェクトの展開を検討する際の参考とするため、実施するものです。
※とちぎの食と農業アクションプロジェクトの概要については、以下のサイトに掲載しています。
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g01/senryaku/food-agri-ap.html>

(担当課:農政部 農政課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

853名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和7(2025)年7月29日～8月11日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。MicrosoftFormsにより回答

3 回答者属性

回答数 461 名 (回答率54%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	206	44.7 %
女性	253	54.9 %
未回答	2	0.4 %
計	461	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.2 %
20代	8	1.7 %
30代	36	7.8 %
40代	119	25.8 %
50代	126	27.3 %
60代	113	24.5 %
70代以上	58	12.6 %
計	461	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	225	48.8 %
県南	137	29.7 %
県北	99	21.5 %
計	461	

(注)

- (1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。
- (3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

4 調査結果

問1 あなたは、食や農業に関する情報に、どの程度関心がありますか。

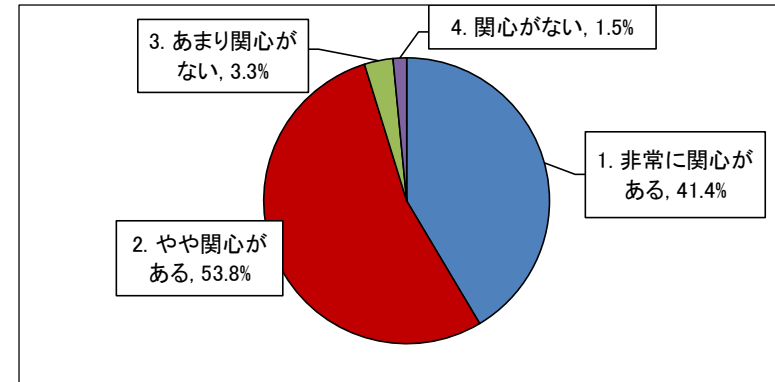
食の情報の例：食品の産地、食品の安全性や表示、食育、食品ロス削減の取り組み、グルメ、季節の食材や旬のレシピ紹介、健康志向の食生活

農業の情報の例：地元農家の取り組みやインタビュー、農業体験イベントの案内、農業の課題、農業技術の進化、農産物の価格や流通、農業政策や支援制度

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 非常に関心がある	41.4%	191
2 やや関心がある	53.8%	248
3 あまり関心がない	3.3%	15
4 関心がない	1.5%	7

(n = 461)

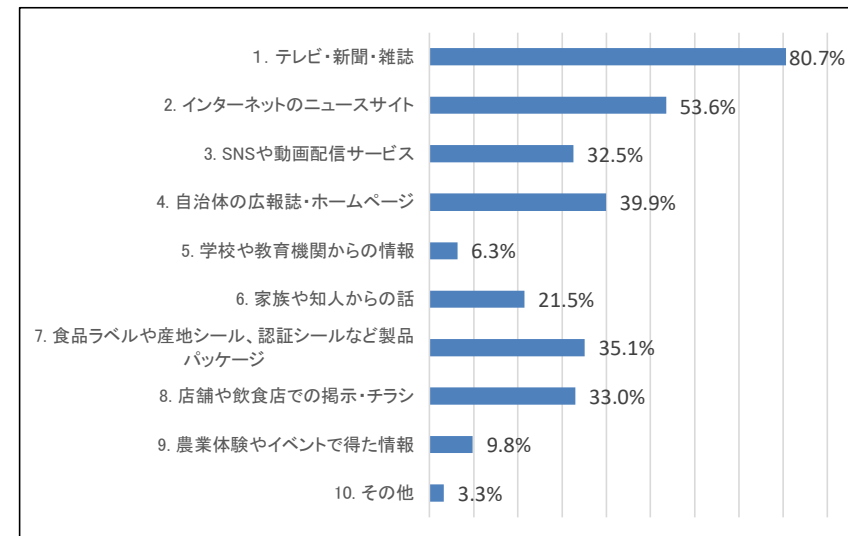


問2 あなたは、食や農業に関する情報を、主にどこから得ていますか。当てはまるものを全て選択してください。

(複数回答可)

	構成比	回答数
1 テレビ（ニュース・特集番組など）・新聞・雑誌	80.7%	372
2 インターネットのニュースサイト	53.6%	247
3 SNSや動画配信サービス	32.5%	150
4 自治体の広報誌・ホームページ	39.9%	184
5 学校や教育機関からの情報	6.3%	29
6 家族や知人からの話	21.5%	99
7 食品ラベルや産地シール、認証シールなど製品パッケージ	35.1%	162
8 店舗や飲食店での掲示・チラシ	33.0%	152
9 農業体験やイベントで得た情報	9.8%	45
10 その他	3.3%	15

(n = 461)



【その他の主な意見】

- ・書籍
- ・生協やJAの広報誌等

問3 あなたが、食に関して重視していること(食品の購入や外食をする際に重視していること)はどのようなことですか。当てはまるものを全て選択してください。

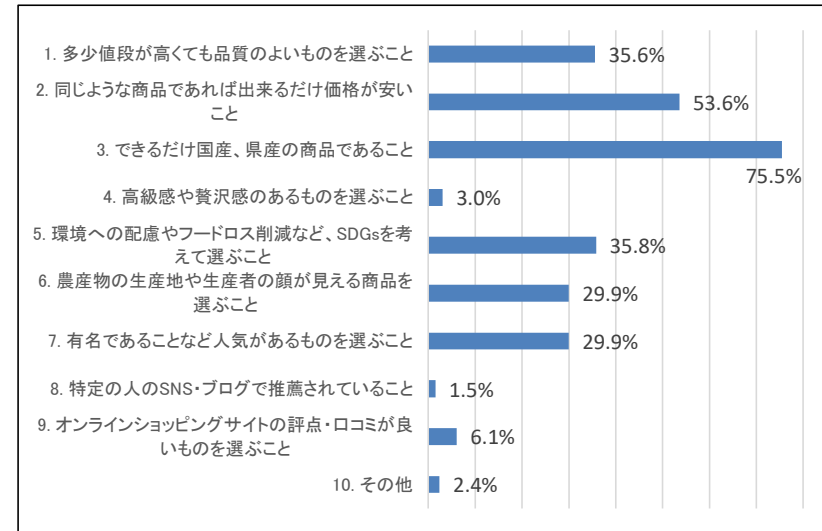
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 多少値段が高くても品質のよいものを選ぶこと	35.6%	164
2 同じような商品であれば出来るだけ価格が安いこと	53.6%	247
3 できるだけ国産、県産の商品であること	75.5%	348
4 高級感や贅沢感のあるものを選ぶこと	3.0%	14
5 環境への配慮やフードロス削減など、SDGsを考えて選ぶこと	35.8%	165
6 農産物の生産地や生産者の顔が見える商品を選ぶこと	29.9%	138
7 有名であることなど人気があるものを選ぶこと	29.9%	138
8 特定の人のSNS・ブログで推薦されていること	1.5%	7
9 オンラインショッピングサイトの評点・口コミが良いものを選ぶこと	6.1%	28
10 その他	2.4%	11

(n = 461)

【その他の主な意見】

- ・自分にとっておいしいもの
- ・添加物の種類



問4 あなたが、現在の日本の農業の課題として知っているものを全て選択してください。

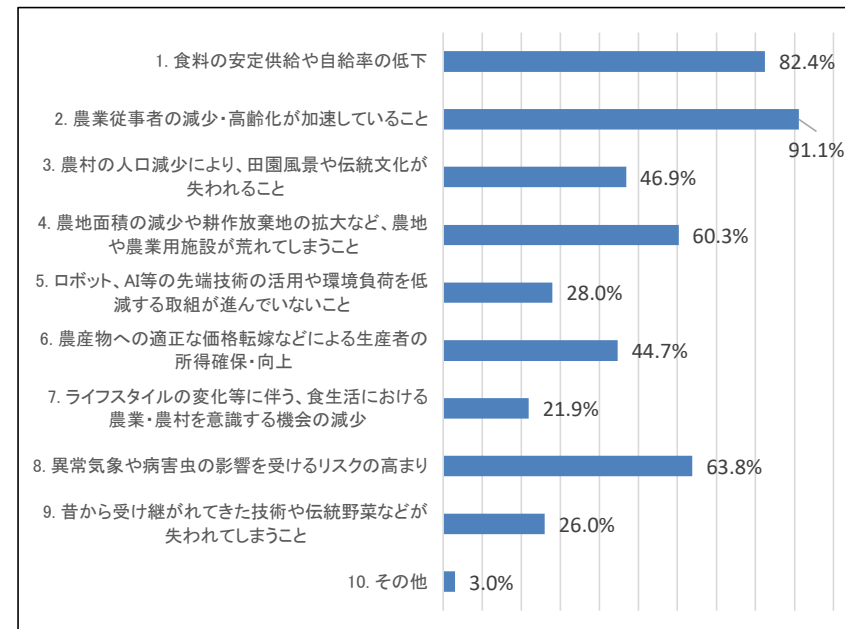
(複数回答可)

	構成比	回答数
1 食料の安定供給や自給率の低下	82.4%	380
2 農業従事者の減少・高齢化が加速していること	91.1%	420
3 農村の人口減少により、田園風景や伝統文化が失われること	46.9%	216
4 農地面積の減少や耕作放棄地の拡大など、農地や農業用施設が荒れてしまうこと	60.3%	278
5 ロボット、AI等の先端技術の活用や環境負荷を低減する取組が進んでいないこと	28.0%	129
6 農産物への適正な価格転嫁などによる生産者の所得確保・向上	44.7%	206
7 ライフスタイルの変化等に伴う、食生活における農業・農村を意識する機会の減少	21.9%	101
8 異常気象や病害虫の影響を受けるリスクの高まり	63.8%	294
9 昔から受け継がれてきた技術や伝統野菜などが失われてしまうこと	26.0%	120
10 その他	3.0%	14

(n = 461)

【その他の主な意見】

- ・大規模化や企業参入が進まないこと
- ・農業従事者の職業病(腰痛等)予防の仕組みがないこと

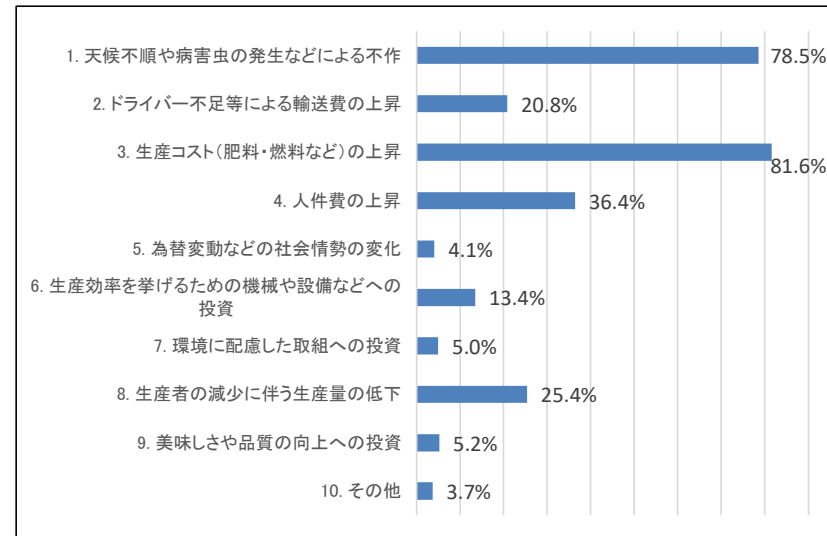


問5 あなたが、農産物の価格が上がる理由として、納得感のあるものはなんですか。3つまで選んでください。

(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 天候不順や病害虫の発生などによる不作	78.5%	362
2 ドライバー不足等による輸送費の上昇	20.8%	96
3 生産コスト（肥料・燃料など）の上昇	81.6%	376
4 人件費の上昇	36.4%	168
5 為替変動などの社会情勢の変化	4.1%	19
6 生産効率を上げるための機械や設備などへの投資	13.4%	62
7 環境に配慮した取組への投資	5.0%	23
8 生産者の減少に伴う生産量の低下	25.4%	117
9 美味しさや品質の向上への投資	5.2%	24
10 その他	3.7%	17

(n = 461)

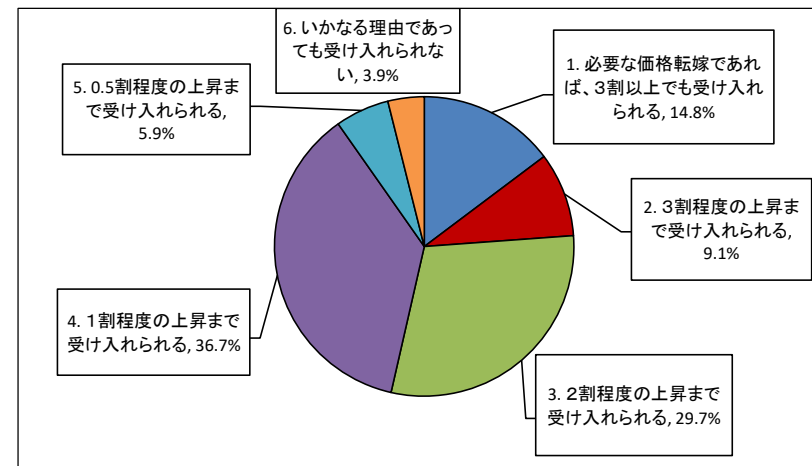


問6 あなたは、農産物の価格上昇について、何割高までなら受け入れられますか。

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 必要な価格転嫁であれば、3割以上でも受け入れられる	14.8%	68
2 3割程度の上昇まで受け入れられる	9.1%	42
3 2割程度の上昇まで受け入れられる	29.7%	137
4 1割程度の上昇まで受け入れられる	36.7%	169
5 0.5割程度の上昇まで受け入れられる	5.9%	27
6 いかなる理由であっても受け入れられない	3.9%	18

(n = 461)



問7 あなたは、今後の農業の持続・発展のために、どのような取組が必要だと思いますか。3つまで当てはまるものを選んでください。

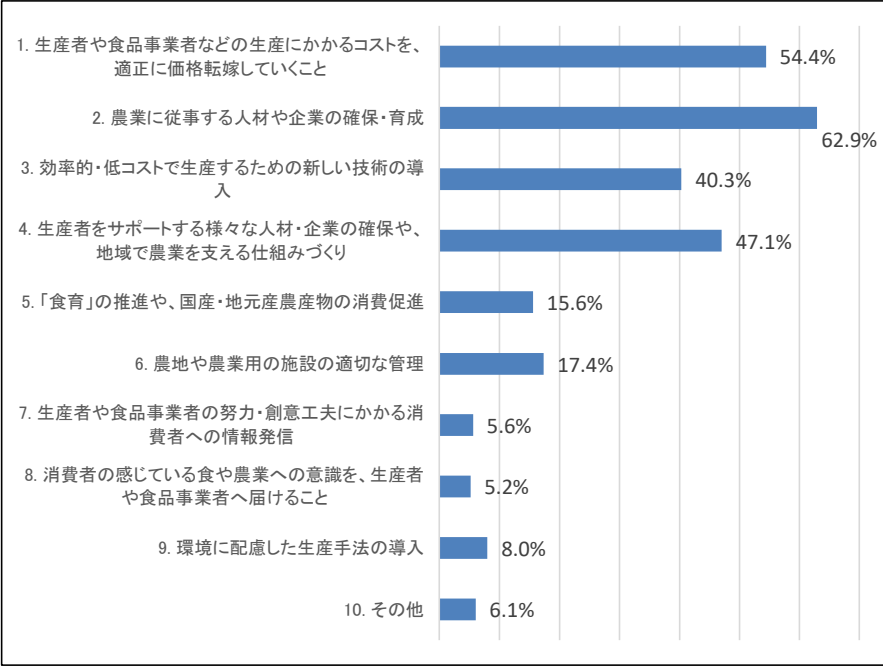
(3つまで回答可)

	構成比	回答数
1 生産者や食品事業者などの生産にかかるコストを、適正に価格転嫁していくこと	54.4%	251
2 農業に従事する人材や企業の確保・育成	62.9%	290
3 効率的・低コストで生産するための新しい技術の導入	40.3%	186
4 生産者をサポートする様々な人材・企業の確保や、地域で農業を支える仕組みづくり	47.1%	217
5 「食育」の推進や、国産・地元産農産物の消費促進	15.6%	72
6 農地や農業用の施設の適切な管理	17.4%	80
7 生産者や食品事業者の努力・創意工夫にかかる消費者への情報発信	5.6%	26
8 消費者の感じている食や農業への意識を、生産者や食品事業者へ届けること	5.2%	24
9 環境に配慮した生産手法の導入	8.0%	37
10 その他	6.1%	28

(n = 461)

【その他の主な意見】

- ・ 気候変動に対応した品種の選択
- ・ 設備投資の負担を低減するためのリース制度や低利融資制度



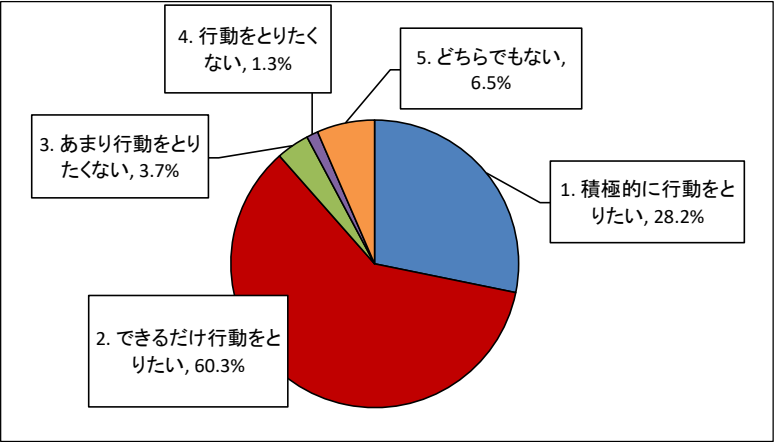
問8 あなたは、栃木県の農業を応援する行動をとりたいと思いますか。

農業を応援する行動の例：買い物や外食での農産物の消費、農業関係のイベントへの参加など

(1つ回答)

	構成比	回答数
1 積極的に行動をとりたい	28.2%	130
2 できるだけ行動をとりたい	60.3%	278
3 あまり行動をとりにたくない	3.7%	17
4 行動をとりにたくない	1.3%	6
5 どちらでもない	6.5%	30

(n = 461)



問9（問8で選択肢1～2を選択した方にお聞きます。）

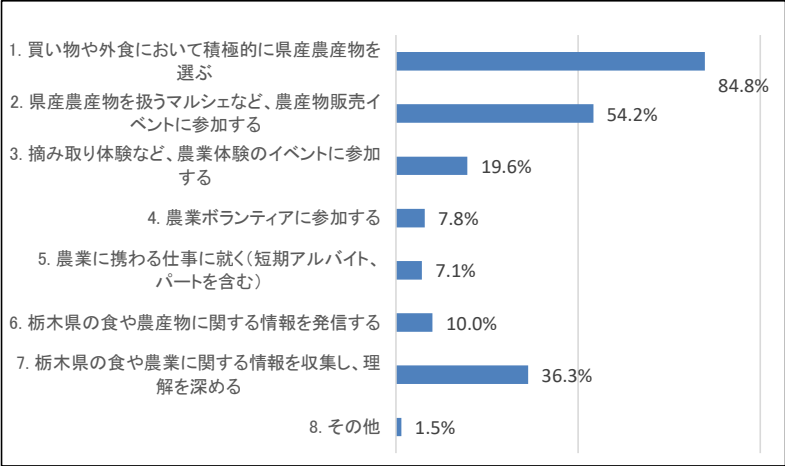
あなたは、栃木県の農業を、どのような行動で応援したいと思いますか。当てはまるものを3つまで選んでください。

（3つまで回答可）

	構成比	回答数
1 買い物や外食において積極的に県産農産物を選ぶ	84.8%	346
2 県産農産物を扱うマルシェなど、農産物販売イベントに参加する	54.2%	221
3 摘み取り体験など、農業体験のイベントに参加する	19.6%	80
4 農業ボランティアに参加する	7.8%	32
5 農業に携わる仕事に就く（短期アルバイト、パートを含む）	7.1%	29
6 栃木県の食や農産物に関する情報を発信する	10.0%	41
7 栃木県の食や農業に関する情報を収集し、理解を深める	36.3%	148
8 その他	1.5%	6

（ n = 408 ）

- 【その他の主な意見】
- ・ 農業者からの直接購入



問10（問8で選択肢3～4を選択した方にお聞きます。）

あなたが、栃木県の農業を応援したくないと思う理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください

（複数回答可）

	構成比	回答数
1 栃木県産にこだわらず、国産の農産物を応援したいから	34.8%	8
2 県外産の農産物（水産物を含む）があれば十分だから	17.4%	4
3 輸入で食料が十分手に入れば、国産（栃木県産を含む）にこだわる必要はないから	21.7%	5
4 他の地域（出身地や住んでいたことがある地域など）の農業を応援しているから	13.0%	3
5 栃木県の農業について、よく知らないから	17.4%	4
6 応援する行動のきっかけがない、又は、具体的な行動が分からないから	30.4%	7
7 食に対する興味がないから	4.3%	1
8 農業や農産物に興味がないから	0.0%	0
9 生産者や食品事業者が努力すべきことだから	13.0%	3
10 その他	17.4%	4

（ n = 23 ）

